

日本社会情報学会第17回全国大会開催要綱

第17回全国大会の開催要綱が、3月11日開催理事会において、下記の通り基本の開催内容が決まりました。

なお、具体的な詳細については、決まり次第「第17回全国大会プログラム」としてご案内させていただきます。

1. 日 時 平成14年9月26日(木)～27日(金)
2. 会 場 東京工業大学 東京都目黒区大岡山2-12-1
3. 統一テーマ「環境としての情報空間 ～その課題とデザイン～」
4. 開催日程

* 1日目 [9月26日(木)]

- ・ 10:00～10:05 開会セレモニー
司 会 遠藤 薫
挨拶 田中 善一郎
- ・ 10:05～12:00 基調講演
 - ・ 講演(1)(大学関係者)
 - ・ 講演(2)(企業関係者)
- ・ 13:00～14:00 会員総会
*平成14年度学会賞表彰
- ・ 14:05～16:35 基調シンポジウム
- ・ 14:05～16:35 自治体ワークショップ(1)
- ・ 16:40～17:30 特別講演(著名知事)
- ・ 17:40～20:00 懇親会 (東工大百年記念館)

* 2日目 [9月27日(金)]

- ・ 10:00～12:00 研究発表A
研究発表B
研究発表C
研究発表D
研究発表E
研究発表F
- ・ 10:00～12:00 自治体ワークショップ(2)
- ・ 13:00～17:00 研究発表G
研究発表H
研究発表I
研究発表J
研究発表K
研究発表L
- ・ 13:00～17:00 自治体ワークショップ(3)
- ・ 17:05～17:15 大会総括
 - ・ 清原会長
 - ・ 次期開催校挨拶
- ・ 17:15 閉会

5. 大会組織委員会

会 長	清原 慶子 (会長)	委 員	須藤 修 (東京大学)
委 員	太田 敏澄 (電気通信大学)	委 員	遠藤 薫 (東京工業大学)
委 員	根本 敏則 (一橋大学)	委 員	福田 豊 (電気通信大学)
委 員	小菅 敏夫 (電気通信大学)	委 員	平林 幹朗 (学会事務局長)

6. 大会実行委員会

委員長	田中 善一朗 (東京工業大学)
副委員長	遠藤 薫 (東京工業大学)
	根本 敏則 (一橋大学)
	坂野 達郎 (東京工業大学)
委 員	
	大山 永昭 (東京工業大学)
	前田 隆正 (ジャパンシステム)
	川本 正章 (NTTデータ)
	廣川 聡美 (横須賀市)
	尾関 敬二 (練馬区)
	学術委員会委員
	小向 鋭一 (東洋オフィスメーション)
	武藤 茂 (ジャパンシステム)
	斉藤 均 (NTTドコモ)
	戸谷 寿夫 (羽曳野市)
	平林 幹朗 (学会事務局長)
	(順不同、敬称略)

7. 大会事務局

遠藤 薫	(東京工業大学) / 事務局長
坂野達郎	(東京工業大学) / 論文集担当
武藤 茂	(ジャパンシステム) / 会計担当

8. 参加費と懇親会費

区 分		参 加 費	懇親会費
会 員	事前振替申込	5,000円	3,000円
	当日受付	6,000円	3,500円
(学生)	事前振替申込	3,000円	3,000円
	当日受付	3,500円	3,500円
非会員	事前振替申込	5,500円	3,000円
	当日受付	6,500円	3,500円

・ 申込方法

事前振替申込は、参加申込振替用紙へ必要事項を記入し、9月10日までに郵便局へ振り込みをして頂くこととします。

なお、招待者についても事前に参加申込をお願いすることとします。

第17回全国大会研究発表募集のお知らせ

学術委員長 遠藤 薫

第17回全国大会におきます研究発表を下記の要領により募集いたします。

研究発表は、1件につき30分を予定しています。研究発表のテーマと致しましては、広く社会における情報に関する最先端の論題、高度情報社会、社会システム、政治システム、経済システム、行政システム、医療システム、教育システム、法体系、地域・自治体・生活社会の情報化、電子政府・電子投票・電子商取引・電子コミュニケーション、仮想社会・仮想組織、インターネット・イントラネット・エクストラネット、など自由にお考え下さい。

第17回全国大会におきます研究発表につきましては、10月下旬に研究発表賞選考委員会を開催し、座長の方および大会参加者の方々の投票にもとづきまして、第五回研究発表賞の選考を行う予定に致しております。なお、第四回研究発表賞受賞者の方々のお名前、ご発表標題につきましては、本学会通信に掲載いたしておりますので、ご覧下さい。

多数の皆様の発表をお待ちしております。奮ってご応募くださいますようお願いいたします。

日 時： 2002年9月26(木), 27日(金)
場 所： 東京工業大学(大岡山キャンパス)
発表申込締切： 2002年5月31日(金)
論文集原稿締切： 2002年7月18日(木)
大会事務局： 〒152-0033 東京都目黒区大岡山2-12-1
東京工業大学大学院社会理工学研究科 坂野達郎研究室
TEL 03-5734-3820 FAX 03-5734-3616
E-mail

(1) 発表申込要領

1. 別紙の申込用紙に必要事項を記入の上、そのコピー1部(計2部)とともに、返送先宛名を記入した封筒(採否結果通知、および採用の場合の学術情報センター登録用紙原稿送付用封筒・130円切手貼付)を同封し、下記宛ご送付ください。

〒152-0033 東京都目黒区大岡山2-12-1

東京工業大学大学院社会理工学研究科 坂野達郎研究室 気付

日本社会情報学会研究発表プログラム委員会

2. 研究発表プログラム委員会による検討の後、発表の採否結果を手紙でお知らせいたします。なお、必着期限を過ぎた申し込みは、準備の都合上検討対象から除外させていただきますのでご了承ください。

(2) 予稿集原稿執筆要領**(a) 原稿作成について**

1. A4版、6ページで図表を含みます(6ページを越えた場合には、その分を削除させていただきますので、ご注意ください)。マージンは上端25mm、下端および左右20mmで作成してください。版組みなどは自由です。
2. 送付された原稿はB5版に縮小し、写真製版します。
3. 原稿の1ページ目は、上から「和文題名、英文題名、発表者名・所属(和文)、発表者名・所属(英文)、英文アブストラクト(100語以内)」の順をお願いいたします。なお、発表者が複数の場合、発表者名の頭に 印を付して下さい。
4. 原稿の下に薄く鉛筆でページ番号を記入して下さい。

(b) 原稿の送付について

1. 必着期限(7月18日)をすぎた場合には、発表を棄権したものとみなします。
2. 原稿とそのコピー1部(計2部)および受領確認のための返送用宛先を記入した官製はがきを同封してください。
3. 送付先は発表申込時と同じです。

以上

* 5月31日(金)必着

日本社会情報学会

第17回全国大会研究発表申込書

発表申込者連絡先

会 員 名		
所 属		
住 所	(勤務先・自宅) 〒	
連 絡 先	TEL	FAX
	E-mail	

論題・発表者・発表用機器

論 題		
ふりがな 発表者氏名(所属) *当日の発表者に を付す	1	2
	3	4
使用機器(機器を使用する場合いずれかに を付す) 1.液晶プロジェクタ(パソコン,同付属のコネクタはご持参下さい) 2.その他(上記以外の機器をご使用希望の場合には,大会事務局にご相談下さい)		

要 旨(200字以内・なるべく手書きはお避け下さい)

*キーワード(5つ程度、必ず記入)

*本学会通信は、全文ホームページに掲載されますので、ダウンロード出来ます。

平成 14 年度・評議員会報告

日 時 平成 14 年 3 月 13 日 (月) 16:40~17:40

場 所 ジャパンシステム(株) 会議室

[出席者] <評議員委員> 河西宏之、三木哲也、菅原進、藤原博彦、中嶋聞多
村越るり子、塚本彰、上野元治、深澤哲也、米山栄一
山口直人、岡田定、柚木憲二、大庫昭弘、小林賢一
梅原寿夫、 <敬称略>
清原会長、太田副会長、和泉中部支部長、福田行事委員長、村上表彰副委員長
刀川学術副委員長、前田常任理事、茶谷理事、松行理事、
平林理事・事務局長、
総務委員 武藤副委員長、大西委員、味水委員

[議 事]

1. 開会・開催次第等説明。
平林事務局長から評議員会の進行についての説明がなされた。
2. 会長挨拶。
清原会長から挨拶がなされた。
3. 議長選出。
清原会長から推薦された、河西評議員が議長に選出された。
4. 書記氏名、議事録署名人氏名。
平林事務局長が書記に、中嶋評議員および柚木評議員が議事録署名人に、それぞれ指名され承認された。
5. 議事
事業運営について。
清原会長から平成 14 年度の学会運営および各委員会の事業計画について報告に引き続き、各委員会の主要事業計画と現在までの実施状況の報告がなされた。
また、中部支部、関西支部、九州支部から各支部の活動状況について報告がなされた。
報告に基づき、意見・提案等を求めた。
第 17 回全国大会開催について。
清原会長、平林事務局長から第 17 回全国大会・開催要綱案について説明があり、了承された。
評議員提案議事の協議。
評議員から、自治体の学会への参加の仕組みが不明確であること等の指摘がなされ、今後検討していくことでの了承された。
学会組織の拡充・強化に関する協議。
平林事務局長から会員状況について報告があり、了承された。
その他。
梅原 H P 部会長から学会 H P について報告があり、了承された。

以上
(記 味水)

理事会報告

【第2回理事会】

日時 平成14年1月29日(火) 17:30~20:00
場所 中央大学駿河台記念館 510号室

[出席者] 清原会長、遠藤副会長・学術委員長、根本理事・総務委員長、福田理事・行事委員長、秋山理事、川本理事、五藤理事、田村理事、茶谷理事、廣川理事、前田理事、松行理事、村上理事、平林理事・事務局長 (出席14+委任20 34/50)
一瀬監査役、加藤監査役
総務委員：武藤副委員長、梅原HP部会長、斉藤委員、露崎委員、味水委員

[議事]

1. 委員会提議・報告(委員会構成、平成14年度の実施計画)

根本敏則総務委員長から平成14年度の総務委員会の構成及び事業計画(ホームページ部会、全国大会等)について提案があり、承認された。

・ホームページ部会について

部会長を梅原氏とし、各委員会から部会員各1名委員長推薦を加え部会を構成する。

<資料> ・平成14年度総務委員会構成と事業実施計画。

・第1回総務委員会議事録。

・収支決算書(10-12月度)。

・ホームページサイトマップ。

福田豊行事務委員長から平成14年度の行事委員会の構成及び事業計画(定例研究会、全国大会等)について提案があり、承認された。

・定例研究会(5回/年)、現地研究会(3回/年)、情報政策研究会(4回/年)

<資料> ・平成14年度行事委員会構成と事業実施計画。

村上幸榮・表彰副委員長から平成14年度の表彰委員会の構成及び事業計画(表彰の実施、過年度分の編纂等)について提案があり、承認された。

<資料> ・平成14年度表彰委員会構成と事業実施計画。

・学会賞受賞一覧資料。

遠藤薫・学術委員長から平成14年度の学術委員会の構成及び事業計画(学会誌の発行、研究部会等)について提案があり、承認された。

<資料> ・平成14年度学術委員会構成と事業実施計画。

2. 第17回全国大会について。

遠藤・全国大会副委員長から組織委員会、実行委員会の構成等について提案があり、承認された。

・統一テーマは、「環境としての情報空間 - その課題とデザイン」と決定された。

・次回理事会において、実行委員会の構成および進め方等について提案することとした。

<資料> ・第17回全国大会計画案。

3. その他、学会運営に関する事項

・新入会員の承認。 <資料> 新入会者名簿。

・学会通信について 4月1日発行(Vol.17-2)および掲載内容につき了承。

・会員名簿は、3月に発行を了承。

・会費の請求状況の報告と過年度会費未納者を次回理事会へ提出することとした。

・梅原寿夫・HP部会長から本学会ホームページの現状についての報告がなされた。

・今後のスケジュールとして3月11日に評議員会、理事会、定例研究会が行われることが報告された。

以上

(記 味水)

【第3回理事会】

日 時 平成14年3月11日(月) 17:50~20:00

場 所 ジャパンシステム(株) 会議室

[出席者] 清原会長、太田副会長、前田理事
根本理事・総務委員長、福田理事・行事委員長、和泉理事・中部支部長、
五藤理事、玉井理事、茶谷理事、廣松理事、松行理事、村上理事、
平林理事・事務局長 (出席13+委任21 34/50)
刀川学術副委員長、中嶋学術委員・学会誌編集担当
総務委員：武藤副委員長、梅原HP部会長、露崎委員、大西委員、味水委員

[議 事]

1. 第17回全国大会について。
 - 1) 実行委員会の構成と活動スケジュール
清原会長から、大会組織委員会、大会実行委員会、大会事務局の構成と活動スケジュールについて基本的な大会運営につき説明がなされ承認された。
 - 2) 開催要項の審議。
清原会長および根本総務委員長(大会実行副委員長)から全国大会の開催日程、開催内容の原案が提案され、参加費および懇親会費の一部修正のうえ、承認された。
*承認された開催要綱は、本学会通信の1-2頁に掲載。
2. 平成14年度評議員会報告。
理事会に先だって開催された平成14年度評議員会の審議内容につき、清原会長から報告された。評議員からの提議された内容につき関係委員会等で充分審議するように支持がり、了承した。
*評議員会の審議内容については、本学会通信の5頁に掲載。
3. 各委員会の報告。
 - 1) 梅原HP部会長から本学会のHPの現況について報告と提案があり、了承された。
 - ・HPの更新体制、掲載内容の充実についての提案課題については次回以降の検討することとした。
 - *HP部会報告と提案については、本学会通信の22頁に掲載。
 - 2) 刀川学術副委員長から学術委員会の活動内容について下記項目につき報告があり、了承された。
 - ・全国大会論文集等のDB化が、国立情報研究所より
 - ・日本学術会議への第19期登録申請につき、各理事に協力要請(役員カードの提出等)があり了承した。
 - 3) 福田行事委員長から行事委員会の活動内容について報告があり、了承された。
 - 4) 村上表彰副委員長から平成14年度学会賞の推薦公募のスケジュールが示され、各賞の推薦要請があり、了承された。
4. その他。
 - ・新入会員の入会承認。
 - ・平林事務局長から学会通信(4月1日発行)掲載項目について報告と掲載原稿につき提出の依頼。
 - ・平林事務局長から会員名簿の作成に関し、会員情報の変更が非常に多く、作成配布時期を4月度へ変更する提案があり、了承された。
 - ・清原会長から評議員会の制度改正についての提案があり、総務委員会における検討課題とすることで了承された。
 - ・次回、第4回理事会開催、6月13日予定。 以上 (記 味水)

研究会報告

【第82回定例研究会】

[日 時] 平成14年1月29日(火) 14:30~17:00

[会 場] 中央大学駿河台記念館 510号室 (03-3292-3111)

[テーマ] 『農村のIT化~郡上村(仮称)の事例~』

*講演 東京経済大学コミュニケーション学部 教授 池宮 正才

*コメンテータ 田村 紀雄 (東京経済大学 教授)

*コーディネーター 福田 豊 (電気通信大学 教授)

内容: 電話の普及が農山村社会にどのような影響をもたらすかということに関して、1973年以来、岐阜県長良川支流の郡上村(仮称)で行われている調査の一部を報告戴いた。

【第83回定例研究会】

[日 時] 平成14年3月11日(月) 14:30~16:30

[会 場] ジャパンシステム(株) 第一会議室

[テーマ] 『通信・放送融合の現状と見通し』

*講演 総務省情報通信政策局情報通信政策課長 吉崎 正弘

*コーディネーター 福田 豊 (電気通信大学 教授)

内容: 放送のデジタル化やブロードバンドの普及によって、ますます加速する通信と放送の融合に関して、テクノロジーの発展に対応する制度設計が必要であるという報告を戴いた。

【第46回現地研究会】

[日 時] 平成14年1月21日(月) 13:30~16:30

[会 場] 板橋区立「文化会館」

[テーマ] 『IT革命に対応した板橋区の情報システムへの取り組みと今後の課題』

(1) 電子区役所の推進について

企画部IT推進課長 浅井 浩

(2) 介護情報提供事業~携帯電話を利用した情報提供

健康生きがい部おとしより保健福祉センター所長 浅島 和夫

(3) 板橋区公式ホームページの再構築について

企画部広聴広報課長 渡邊 茂

【平成14年度・第1回情報政策研究会】

[日 時] 平成13年12月4日(火) 14:00~16:00

[会 場] グランドアーク半蔵門 「華の間」

[テーマ] 『IT革命と日本の経済構造改革』

経済産業省文化情報関連産業課長 岸本 周平

(埼玉大学経済学部客員教授、山東大学経済学院客座教授)

*本研究会は、「電子文書電子申請推進協議会」との共催となっております。

【生活情報化研究部会】

[第16回定例研究会]

日 時：平成13年11月21日(水) 14:00~17:00

場 所：電気通信大学IS棟中会議室

テーマ：『NPOと協働システムの課題』

報告者： 井上 光晴 町田市広報広聴課 課長

「町田市における協働システム～ファミリーサポートセンター事業のNPOへの
委託など市における協働システム」

佐藤 佳弘 (株)情報文化総合研究所 代表取締役

「NPOのネットワークの構築」(仮)

檜森 淑子 NPO：草加子育てサポートネットさくらんぼ 理事長

[第17回定例研究会]

日 時：平成14年2月2日(土) 14:00~17:00

場 所：電気通信大学IS棟中会議室

テーマ：『電子自治体と生活情報システムの課題』

報告者： 茶谷 達雄 都市情報システム研究所所長/市町村中央研究所客員講師

榎並 利博 (株)富士通総研 公共コンサルティング部

「NPOのネットワークの構築」(仮)

【中部支部 研究会】

「情報通信が支える保健・医療・福祉のまちづくり」研究会

[第3回研究会]

日 時：平成13年12月12日(水) 18:00~19:30

場 所：愛知県厚生連 足助病院 講義室

演 題：『身体的拘束ゼロへの取り組みと福祉機器の役割』

講 師：田村 俊世 国立長寿医療研究センター 老人支援機器開発部 部長

[第4回研究会]

日 時：平成14年2月7日(木) 18:00~19:30

場 所：愛知県厚生連 足助病院 講義室

演 題：『パーキンソン病の病態と疫学』

講 師：林 良一 市立岡谷病院 副院長

[第5回研究会](予定)

日 時：平成14年4月4日(木) 14:00~15:30

場 所：愛知県産業貿易会館 西館6階(視聴覚室)

演 題：『21世紀の研究課題～コンボン研究所の考えていること～』

講 師：井上 恵太 (株)コンボン研究所 所長

平成14年度・学会賞候補推薦について

平成14年度・学会各賞の推薦公募を別記内容にて行います。
各表彰候補の推薦をお願い申し上げます。

日本社会情報学会表彰委員会
委員長 小菅 敏夫

< 表彰候補者の推薦締め切り >

種 類	締 切 日
大学院学位論文賞	14年4月22日(月)
優秀文献賞	14年6月28日(金)
優秀論文賞	同 上
論文奨励賞	同 上
学会功労賞	14年7月31日(水)
社会情報システム貢献賞	同 上

[功労選考委員会]

- 選考区分： ・ 学会功労賞
・ 社会情報システム貢献賞

[文献論文選考委員会]

- 選考区分： ・ 優秀文献賞
・ 優秀論文賞
・ 論文奨励賞
・ 大学院学位論文賞
・ 研究発表賞

各推薦書は、コピー（A4に拡大）してご利用下さい。
また、本学会通信は、ホームページへ掲載しますので、各表彰
候補推薦書は、ダウンロードして利用出来ます。

（4月中旬以降）

日本社会情報学会・学会表彰候補者の推薦お願い [学会功労賞][社会情報システム貢献賞]

平成14年4月1日

日本社会情報学会表彰委員会
功労選考委員会

下記により、日本社会情報学会の平成14年度・標記表彰候補の推薦をお願い致します。

1. 受付期限 平成14年7月31日(水) 必着
2. 推薦先 日本社会情報学会 会長 清原 慶子

〒154-0001 東京都世田谷区池尻2-31-24信田ビル
日本社会情報学会事務局気付「功労選考委員会」
TEL 03-3795-8511
FAX 03-3795-9911
E-mail jasi@jade.dti.ne.jp

3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、1件1部。
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます)
4. 推薦者資格 本学会正会員。

なお、学会表彰の区分及び対象は、日本社会情報学会表彰規則第2条に基づき以下の通りとする。

- (1) 学会功労賞
本学会の発展に著しく功労のあった者。
- (2) 社会情報システム貢献賞
本学会の大会、研究会、学会誌で公表した研究もしくは発表で、社会情報システムの発展に特に貢献したと認められる個人または団体。

表 彰 候 補 推 薦 書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則により表彰の候補を推薦致します。

[推薦者]

(ふりがな) 氏 名	
連絡先住所	〒 TEL () FAX () E-mail :

記

[推薦候補者または推薦候補団体の名称] * 多人数の場合は、その代表者名。

[表彰区分] * 該当区分の に√を付す。

学会功労賞

社会情報システム貢献賞

[表彰対象事項]

[表彰事由]

< 添付資料 >

受付： 年 月 日

受付者氏名：

14年4月1日

*13.12.15発行学会通信の再掲

日本社会情報学会

第五回大学院学位論文表彰候補者の推薦のお願い

日本社会情報学会表彰委員会
文献論文選考委員会

この度、日本社会情報学会では、表彰規則第2条第1項(5)に定める大学院学位論文賞につき、下記により、平成13年4月1日～平成14年3月31日までの期間におきます学位取得者の大学院学位論文につきましての表彰候補者のご推薦をお願いいたします。なお、本賞につきましては、社会情報学関連大学院ご担当の先生方にも、正会員となつていただくことを条件に、ご推薦の依頼を致しております。

なお、表彰区分は、日本社会情報学会大学院学位論文賞選考要領にもとづき、以下の通りといたします。

- (1) 修士論文・・・大学院学位論文賞(修士)
- (2) 課程博士論文・・・大学院学位論文賞(博士)
- (3) 論文博士論文・・・大学院学位論文賞(博士)

また、受賞者には、全国研究発表大会総会において、賞状を授与いたしますとともに、学会通信には、受賞者名、論文題目を、日本社会情報学会誌には、受賞者名、論文題目、学位論文要旨を、それぞれ掲載いたします。

記

1. 受付期限 平成14年4月22日(月)(必着)
2. 推薦先 日本社会情報学会 会長 清原 慶子
〒154-0001 東京都世田谷区池尻2-31-24 信田ビル
日本社会情報学会事務局気付「文献論文選考委員会」
TEL 03-3795-8511
FAX 03-3795-9911
E-mail jasi@jade.dti.ne.jp
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一部
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
4. 添付書類 学位論文四編(論文のコピーで結構です)
同学位審査要旨四通
(修士論文につき1000字程度、博士論文につき2000字程度)
5. 推薦者資格 本学会正会員(入会手続中の方も、ご推薦戴くことができます。
この場合、理事会での入会承認を条件として、正会員のお取り扱いを致します。)

以上

平成 年 月 日

表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による大学院学位論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____
TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦論文名] _____

[学位取得者氏名] _____

[学位授与研究科・専攻名] _____
大学 _____ 研究科 _____
専攻 _____

[推薦区分] () 内に○印を付してお示し下さい。
() 修士論文 () 課程博士論文 () 論文博士論文

[推薦事由]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

平成14年4月1日

日本社会情報学会 優秀文献賞 表彰候補者推薦のお願い

日本社会情報学表彰委員会
文献論文選考委員会

この度、表彰規則の改正に伴い、表彰規則第2条(2)優秀文献賞につき、下記により、表彰候補者をご推薦下さいますようお願い致します。なお、優秀文献賞は、本学会正会員の公表した著書、翻訳書等で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な文献に贈られる賞となっております。また、対象となる文献の公表時期は、平成11年10月1日以降と致します。

記

1. 受付期限 平成14年6月28日(金) 必着
2. 推薦先 日本社会情報学会 会長 清原 慶子
〒154-0001 東京都世田谷区池尻2-31-24信田ビル
日本社会情報学会事務局気付「文献論文選考委員会」
TEL 03 - 3795 - 8511
FAX 03 - 3795 - 9911
E-mail jasi@jade.dti.ne.jp
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一文献
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
4. 推薦者資格 本学会正会員

以上

平成 年 月 日

日本社会情報学会
優秀文献賞表彰候補推薦書

下記の通り，日本社会情報学会表彰規則による優秀文献賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦文献名] _____
出版社等名称 : _____
発行年月日 : _____
[表彰候補者名] _____
所属 : _____

[推薦事由]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

平成14年4月1日

日本社会情報学会 優秀論文賞・論文奨励賞 表彰候補者推薦のお願い

日本社会情報学表彰委員会
文献論文選考委員会

この度、表彰規則の改正に伴い、表彰規則第2条(3)優秀論文賞、(4)論文奨励賞につき、下記により、それぞれの表彰候補者をご推薦下さいますようお願い致します。

なお、優秀論文賞は、本学会正会員が公表した論文で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な論文に贈られる賞であり、論文奨励賞は、本学会正会員である新進の研究者が公表した論文で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な論文に贈られる賞となっております。また、対象となる論文の公表時期は、平成11年10月1日以降と致します。

記

1. 受付期限 平成14年6月28日(金) 必着
2. 推薦先 日本社会情報学会 会長 清原 慶子
〒154-0001 東京都世田谷区池尻2-31-24信田ビル
日本社会情報学会事務局気付「文献論文選考委員会」
TEL 03-3795-8511
FAX 03-3795-9911
E-mail jasi@jade.dti.ne.jp
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一編
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます)
4. 添付書類 推薦論文三通。(論文の抜き刷りないしコピーで結構です)
5. 推薦者資格 本学会正会員。

以上

平成 年 月 日

日本社会情報学会
優秀論文賞表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による優秀論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印

(所属) _____

(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____

E-mail :

記

[推薦論文名] _____

[表彰候補者名] _____

所属 : _____

[論文掲載誌名] _____

発行学会等名称 _____

第 _____ 卷 , 第 _____ 号 , _____ ~ _____ ページ

[推薦事由]

受付 : 平成 年 月 日

受付者氏名 :

平成 年 月 日

日本社会情報学会
論文奨励賞表彰候補推薦書

下記の通り，日本社会情報学会表彰規則による論文奨励賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
 (所属) _____
 (連絡先住所) 〒 _____

 TEL : _____ FAX : _____
 E-mail : _____

記

[推薦論文名] _____
 [表彰候補者名] _____
 所属 : _____
 [論文掲載誌名] _____
 発行学会等名称 _____
 第 _____ 卷，第 _____ 号， _____ ~ _____ ページ
 [推薦事由] _____

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

第6回アジア太平洋地域情報システム国際会議 (PACIS2002)論文募集のご案内

*この国際会議へは、本学会が後援団体として参画致しております。

開催日 2002年9月2日～4日 会場 明治大学リバティタワー

info@pacis2002.org / <http://pacis2002.org>

論文投稿締め切り：3月31日
カメラレディ原稿締め切り：6月30日
査読結果の通知：5月31日

招待講演者： Dr. Richard Watson (Univ. of Georgia)
Mr. Yasuteru Murakami (Nomura Research Institute)
Dr. Thomas Davenport (Accenture Institute for Strategic Change)

この度、経営情報学会(JASMIN)の主催で、The Sixth Pacific Asia Conference on Information Systems (PACIS2002)を開催することになりました。PACIS は1993年に始まった国際的な会議で、世界各国より200名ほどの情報システム研究者が集まり、80件ほどの独創的な研究が発表されると主に、特別講演、パネル・ディスカッション、ドクトラル・コンソーシアムなど充実した内容で、活発な討論が行われております。

第6回を迎えます本年のPACISは日本で開催することになりました。今年は、"The Next e-What? for Business and Communities" のテーマのもと、トーマス・ダベンポート博士をはじめ、産学界の著名人に特別講演をお願いしております。

また、ここで一般発表される論文は全てフルペーパー査読となっております。関心領域、投稿要領などの詳細につきましては、ホームページ (<http://pacis2002.org>) をご覧下さい。

皆様のご投稿をよろしくお願い申し上げます。

大会会長	真鍋 龍太郎 (経営情報学会会長・文教大学教授)
実行委員長	高井 英造 (フレームワークス取締役)
プログラム委員長	寺野 隆雄 (筑波大学教授) Michael D. Myers (Auckland 大学教授)

[会期と会場] 日程：2002年9月3日(火)・4日(水)
・ドクトラルコンソーシアム：2002年9月2日(月)
パーティ：2002年9月4日(水)
会場/明治大学駿河台キャンパス(リバティタワー)
会場への交通機関についての問い合わせは、学会事務局へ。

[参加申込] 早期登録料は2002年7月31日までに申し込まれた方(郵送の場合は7月31日消印有効)が対象となります。それ以降に申し込まれた方は後期登録料が適用されます。会議当日にお申込される方は後期登録料扱いとなります。

<登録料> *早期登録料 30,000円 (学生) 5,000円
*後期登録料 40,000円 (学生) 10,000円

・詳細な申込方法につきましては5月に発行予定のアドバンスプログラムに掲載いたします。

<振込先> 銀行名：東京三菱銀行 神田支店

口座番号：1112021(普通) 口座名義：PACIS2002

以上

第八回社会情報システム学シンポジウム開催報告

社会情報学理念研究部会

主査 太田敏澄（電気通信大学）

幹事 石田和成（構造計画研究所）

日本社会情報学会（JASI）「社会情報学理念」研究部会では、第八回社会情報システム学シンポジウムを、社会情報システム学研究会、および経営情報学会（JASMIN）「社会情報と情報流通」研究部会との共催にて、2002年1月30日（水）に電気通信大学大学院情報システム学研究科棟にて開催致しました。

このシンポジウムは、21世紀の社会情報システムのシナリオを描くべく、人文・社会科学的情報概念と自然科学的情報概念の統合を企図した、高度でかつ幅広い議論ができますことを願って開催致しております。お陰様をもちまして、55名の方々のご参加を戴き、盛会のうちに開催することができましたことに、深く感謝致しております。

来年同時期には、第九回のシンポジウムを企画する予定に致しておりますので、ご研究発表をはじめ、ご関心のある多数の方々のご参加をお願い申し上げます。

このシンポジウムでは、開会の挨拶を、前田隆正氏（ジャパンシステム株式会社相談役、目黒会会長）に戴くとともに、特別講演として、「社会の情報化と法の機能」（濱田純一氏、東京大学大学院情報学環・社会情報研究所教授）のご講演を戴きました。

このご講演は、情報への法の関わり方につき、受け身的な対処や積極的な対処、さらには一歩進んだ基盤形成的で政策的な対処があることについて、具体的な事例に基づく貴重なご講演であり、今後この領域の研究を展開する上で大変有意義なご講演でありました。

さらに、午後の公募による一般セッション講演では、14件のご研究発表がありました。

これらのご講演は、

[A] 社会の情報システム

[C] インターネット社会がもたらす新たな課題

[B] 社会情報システムを支える技術

[D] 社会情報システムの分析

の4つのセッションにより行われました。

いずれのご講演も、時代の要請にもとづいた実践的、概念的ないし操作的なご研究の成果を披瀝して戴いたご講演であり、ますますこの領域の研究が盛んになることを確信することができました。

なお、一般セッションでのご講演の題目につきましては、社会情報システム学研究会のホームページ <http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/>に、これまでの回のご講演題目を含めて掲載いたしておりますので、ご覧戴けますよう宜しくお願いいたします。

また、学術講演論文集に余裕がございますので、ご希望の方に、実費¥1,000にて頒布致します。お申し込みは、第八回社会情報システム学シンポジウム学術講演論文集購入ご希望の旨、ご送付先住所、お名前、telまたはfax番号を添え、e-mail:ohta@is.uec.ac.jpまたはfax: 0424-43-5660 太田敏澄宛に、お願い致します。代金につきましては、郵便振込口座番号 00150-2-539320 社会情報システム学研究会宛に、学術講演論文集到着後、お振り込み下さいますようお願いいたします。部数に限りがございますので、先着順にてご容赦下さい。

<お問い合わせ先> 社会情報システム学研究会事務局 研究会代表 太田敏澄
Fax&Tel: 0424-43-5660, e-mail:ohta@is.uec.ac.jp
電気通信大学大学院情報システム学研究科情報システム運用学専攻
社会情報システム学講座 [URL:http://www.ohta.is.uec.ac.jp/](http://www.ohta.is.uec.ac.jp/)

総務委員会・HP部会からのお知らせ

総務委員会HP部会は平成14年度事業計画である「総務機能の充実整備による学会運営業務の円滑化」の方針に則り、事務局・総務・学術・行事・表彰委・の各委員会、各支部と協力・連携し、各委員会の活動情報や通知をリアルタイムで掲載し、学会ホームページによる積極的な広報活動を展開していくことを計画しています。特に、学会ホームページを魅力あるものとするために、「社会情報学のポータルサイト」を目指し、全国各地の大学や関係研究機関、社会情報学に関する大学院ならびにその所属研究者が開設しているWEBサイトのリンク集を新たに構築していくことを計画しています。

そのためには、会員の方々のご協力をお願いし、既に公開されている社会情報学関連のホームページに関するURLやサイト内容などの情報を提供していただくことが必要と考えています。

したがって、学会のリンク集に登録していただける場合や社会情報学関連のサイトをご存知の場合は、下記メールアドレスまで、その情報をお知らせください。

連絡先Eメールアドレス： jasi@jade.dti.ne.jp 又は planning@tom-inc.co.jp
日本社会情報学会URL： http://wwwsoc.nii.ac.jp/

ご多忙中とは存じますが、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。また、下記の今後の検討項目等についても、併せてご意見、ご助言を戴きたくお願い申し上げます。

(総務委員会HP部会長 梅原寿夫)

【WEBサイトの活用についての検討項目】(案)

<掲載の基本的考え方>

1. 各委員会、各支部、事務局における情報や通知をリアルタイムで掲載する。
2. 掲載情報は、各委員長・各支部長・事務局長から、HP部会に提供された情報を掲載する。
 - * 会員および学会外から提供された情報は、所管の各委員長・各支部長・事務局長は、関連部門との協議を経て、HP部会へ掲載を依頼する。
 - また、リンク等についても同様な措置をとることとする。

<検討課題項目>

1. 会員への情報報告・提供・各種行事案内等について。
 - * 従来、印刷・製本後、郵送していた(会員名簿、学会通信等)資料を、PDF形式で公開可能な資料は、WEBダウンロードサイトで公開する。
 - * 会員への一斉通知が必要な資料は、「学会メール通信」(仮称)として一斉同報メールでダウンロードサイトから情報を入手する方法、会員専用のパスワード等を通知する。
 - * 可能な限り、会員情報へ学会通信用メールアドレスの明記を要請する。
 - メールアドレスを持たない会員へは、FAXおよび従来の方法を併用する。
2. 掲載内容の充実。～役に立つ、魅力的な情報掲載をめざして～
 - * 社会情報学サイト・リンク集の構築。(社会情報学のポータルサイト)
 - * 団体会員・学生向け「社会情報学」の解説。(社会情報学の啓発)
 - * 著作権問題をクリアした学術論文等の学術資料の掲載。
 - * WEBサイト用書き下ろし論文。
 - * 全国大会発表論文集等の掲載。 他

事務局たより

平成14年度も半年が過ぎようとしておりますが、各委員会・支部とも、各担当所管事業を計画に添って展開してきております。

事務局としても、会員の皆様のご協力を戴きながら、更なる会員サービスの充実を目指し、業務を遂行して参ります。

§ 会費納入のお願いと銀行口座変更のお知らせ

今年度および過年度の会費がご事情により未納の会員の方へ、再度、ご確認の上、ご納入のほどお願い申し上げます。ご承知のように、本学会の運営は、会費収入で行われております。会費収入が滞りますと、事業運営に多大な影響を及ぼします。

主旨ご理解の上、重ねてよろしくお願い申し上げます。

< 銀行口座変更 > * 銀行の併合により、下記の通り銀行名が、4月1日より変更になりますのでご通知致します。

	平成14年4月1日より	平成14年3月31日まで
銀行名 (金融機関コード)	みずほ銀行 (0001)	富士銀行 (0003)
店名 (店番号)	渋谷支店池尻大橋出張所 *変更無 (769)	渋谷支店池尻大橋出張所 (226)
口座番号	1537786 *変更無	1537786
口座名義	日本社会情報学会 会長 清原慶子 *変更無	日本社会情報学会 会長 清原慶子

* 郵便局ご利用については、変更ありません。

郵便局 口座番号 00130-6- 110705

加入者 日本社会情報学会 代表 清原慶子

§ 会員名簿について

3月迄に作成し、配布の予定をしておりましたが、下記の事由により、遅れますことをお詫び申し上げます。

・ご連絡を戴いた会員情報の変更会員数が150名以上となり、メンテナンスに時間が掛かっている。

・また、4月1日付けの変更が例年になく多く予想される。

等々により、より正確な会員情報による名簿作成を期する。

(お願い)

* 所属機関・部門の異動変更、自宅住所の変更等、お手数ですが、できるだけ速やかにご連絡のほどお願い申し上げます。